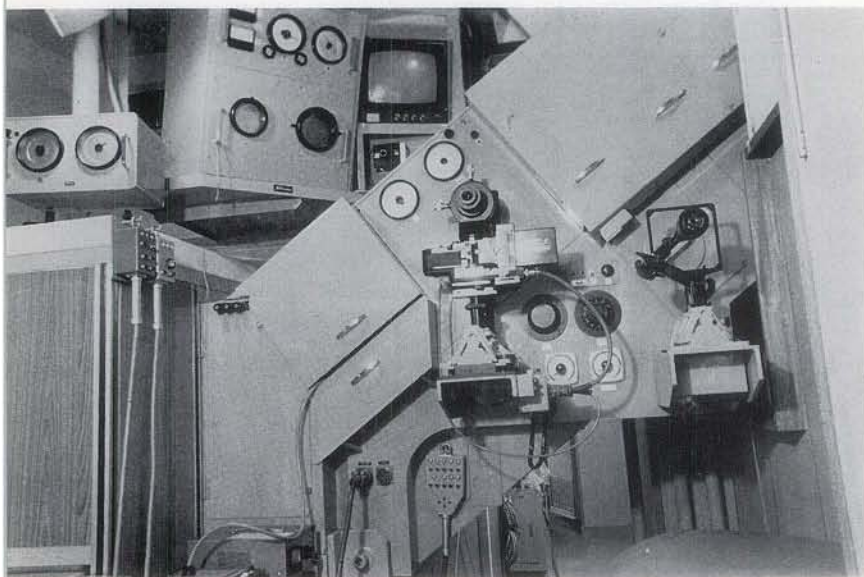


25 cm コロナグラフによるスペクトル

(本文記事参照)



◀ 第1図

乗鞍に完成した 25 cm コロナグラフの分光器室。

太陽光は右上から入り、左下の分光器に行く。

画面の中央やや上よりには $H\alpha$ による監視用アイピースが見える。



H_{10}

Ti^+

H_{13}

H_{15}

H_{20}

バルマー連続光

▲ 第2図

25 cm コロナグラフによるループ紅炎のバルマー輝線。

右の 1/3 くらいにみえるのがバルマー連続光 (1973年5月23日) 右端はウエッジと時計。

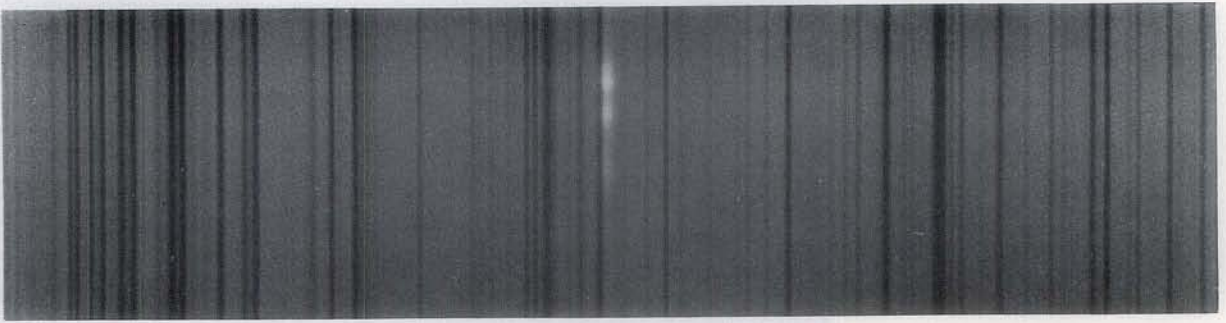


$He I$ 4713 A

$He II$ 4686 A

▲ 第3図

第2図と同じ現象で、 $He I$ と $He II$ の輝線の幅が太いことに注意。電子散乱等による連続スペクトルも見える。

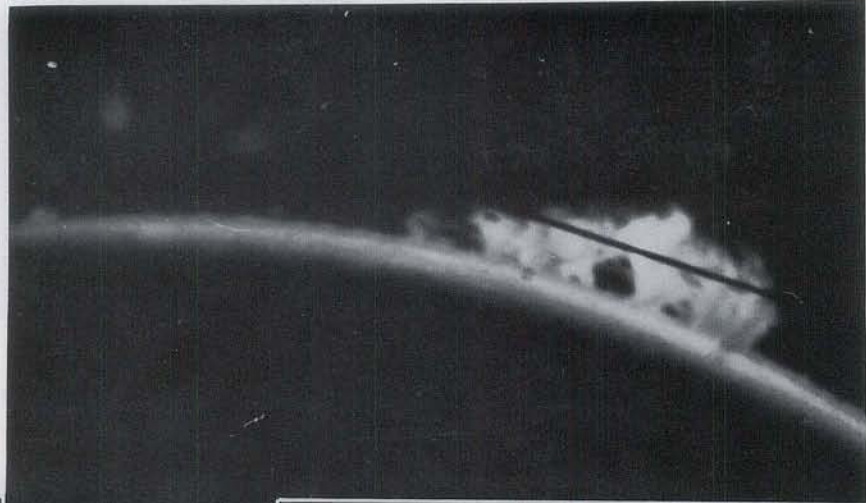


[Fe XIV] 5303 A

▲ 第4図 第2図と同じ現象

第5図 ▶

1972年11月2日の紅炎の $H\alpha$ 単色像，紅炎を横切る黒い線は分光器に光を入れるためのスリット．

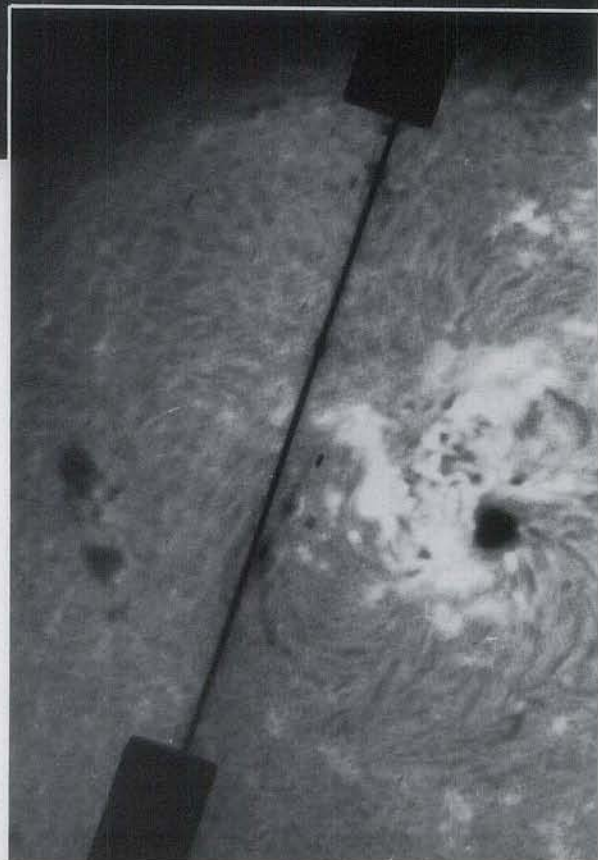


▼ 第6図 活動領域の $H\alpha$ 像

1972年10月30日，黒い線はスリット．



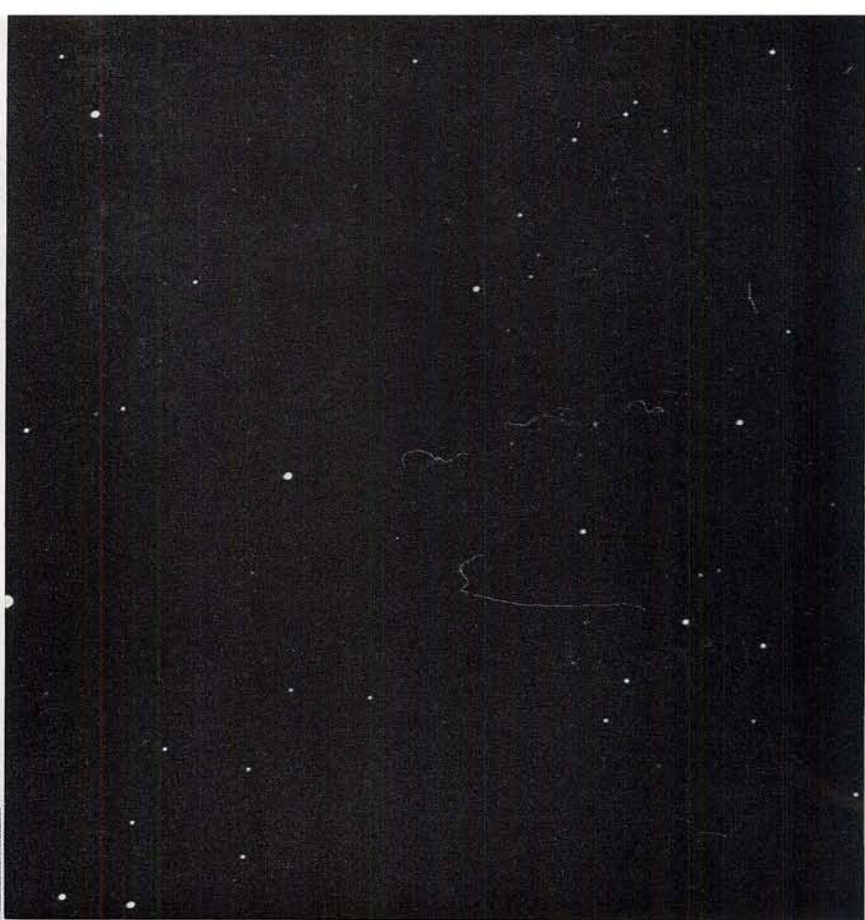
活動領域の ▶
 $H\alpha$ 像
1972年10月27日，黒い線はスリット．



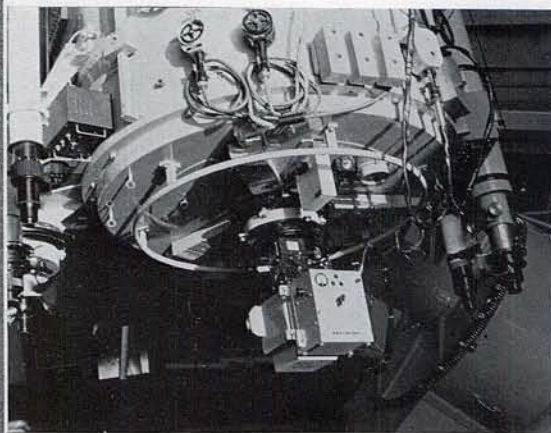
OJ-287

(本文記事参照)

堂平観測所 91 cm 反射鏡にて撮影 ▶



◀ 堂平観測所 50 cm 彗星写真儀にて撮影,



▲ 堂平観測所 91 cm 反射鏡による光電測
光観測

